

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-514951(P2001-514951A)

【公表日】平成13年9月18日(2001.9.18)

【出願番号】特願2000-509654(P2000-509654)

【国際特許分類第7版】

B 6 8 C 3/02

【F I】

B 6 8 C 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

図2に示した例では、自由旋廻軸が、二つの接続部32の二つの旋廻軸の間に位置する。各連接部30は、このように全部で三つの旋廻軸を持つ。安全用スターラップの二つの連接部30にある全てのヒンジピン40は互いに平行である。ヒンジピン間の間隔は同一で、その数値は例えば10乃至15mm、より正確には12.5mmである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

結合部材42は基本的には8の字形をしている。それらには二つの隣接するヒンジピン40それぞれのための穴がある。二つの隣接するヒンジピン40は二枚の平行な結合部材42によって互いに連結されていて、二組の結合部材42が同一のヒンジピン40を共有している。即ち、自由旋廻軸の場合、一組の結合部材42は、他の組の部材に対し、特に図1と図2に見られるように例えば内側または外側にずれるので、結合部材42の対同志の間隔が、同一の組と異なる組がある。